

BMW純正アクセサリ。 取付説明書。



レトロフィットM Performanceステアリングホイール。 BMW M5 (F90)

レトロフィットセット番号

32 30 2 455 277 ステアリングホイール

取り付け時間

取り付け時間は**約0.75時間**です。この時間は、車両の状態や装備によって相違する可能です。

この取り付け時間にはプログラミング/コーディングにかかる時間は含まれていません。

プログラミング時間の為に発生する全ての費用は、レトロフィット費用の算定に汲み入れることが必要です
(保証での繰り返ししてはいけません)。

重要

この取付説明書は、第一にBMW社内、ならびにBMW公認のサービス業者用に作成されています。

いずれの場合も、本取付説明書のターゲットグループは、BMW車両について研修を受け、適切な専門知識を持った専門スタッフとします。

どの作業でも最新のBMW修理マニュアル、回路図、メンテナンスハンドブックおよび作業指示書を参照し、合理的な順序で規定の工具（特殊工具）を用い、有効な安全規定を遵守してください。

取付または機能に問題がある場合、トラブルシューティングにかかる時間は機械系作業の場合は約30分、電気系作業の場合は1時間までで制限してください。




余計な労力をかけることを避け費用を節約するため、速やかにAftersales Assistance Portal (ASAP)から部品技術サポート宛にお問い合わせください。

その際下記の情報を伝えてください:

- 車台番号
- 取付部品の部品番号
- 問題についての詳細な説明
- 実行済みの作業ステップ

ASAPにより毎日更新されるため、本取付説明書のプリント版をアーカイブしないでください!

ピクトグラム

-  危険に注意を促す注記を表しています。
-  特殊な内容に注意を促す注記を表しています。
-  注意またはヒントのテキストの終了を表します。

組立時の注意

図はすべてLHD（左ハンドル仕様）車用のものを表しています。RHD（右ハンドル仕様）車の場合は、それに適切に合わせて作業してください。

取り付けは一部のみ車両左側について記載されています。車両右側は相応に取り付けてください。

ケーブルやラインを敷設する際には折れ曲がったり損傷がないように注意してください。それにより生じた費用をBMW AGが補てんすることはありません。

追加で配線したケーブルはケーブルストラップで固定しなければなりません。

追加的に、多機能ボタン及びボタンM1とM2を、シリーズ的に取付けたMスポーツステアリングホイールから取り外して、M Performanceステアリングホイールに取り付けることが必要です。

全てのケーブル、コードとコントロールユニットは、同様にシリーズ的に取付けたMスポーツステアリングホイールから取り入れることが必要です。

ワークショップへの注意事項

ステアリングホイールヒーターSA 248装備車両にM Performanceステアリングホイールを取付ける場合はヒーター機能はなくなります。コード出力は不要です。フォルトメモリーのメッセージは無視してかまいません。

必要な特別・特殊工具

なし

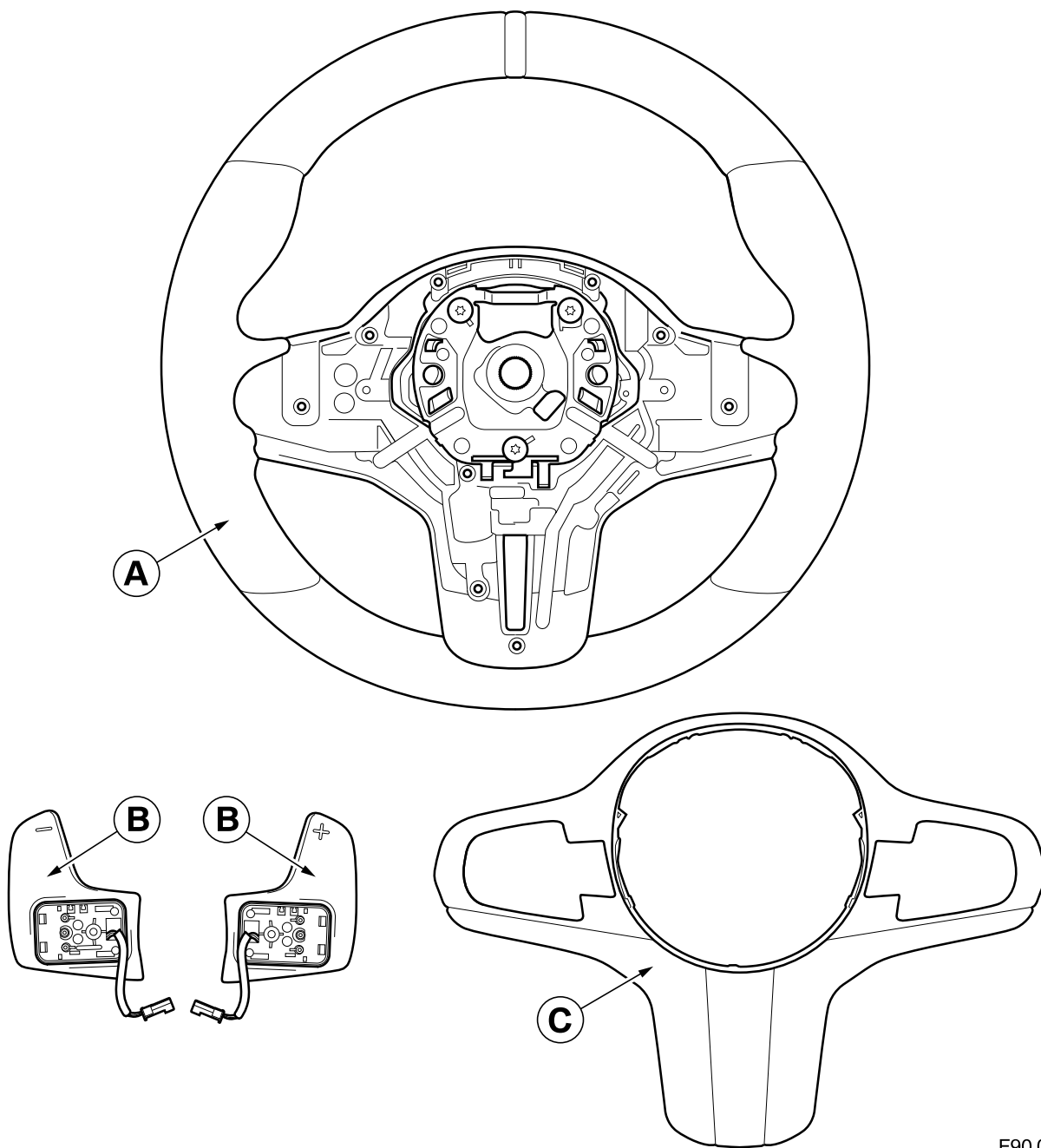
目次

セクション	ページ
1. 準備作業	4
2. 部品概要	5
3. 取付け	6
4. 仕上げ作業とコーディング	8

1. 準備作業

	ISTA番号/AIR番号
短期テストを実行	---
バッテリーマイナスケーブルを外す	12 00 ...
あらかじめ取り外すコンポーネント	
エアバッグユニット	61 31 221
Mスポーツステアリングホイール	61 31 221
Mロッカースイッチ	61 31 221
多機能スイッチ	61 31 221
Mデコプレート	61 31 221
ボタンM1とM2	---
すべてのケーブル、ライン、コントロールユニット	---

2. 部品概要

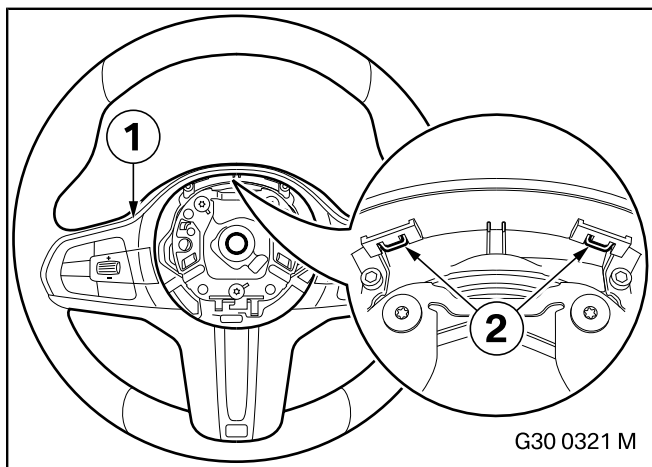


F90 0398 M

シンボルの説明

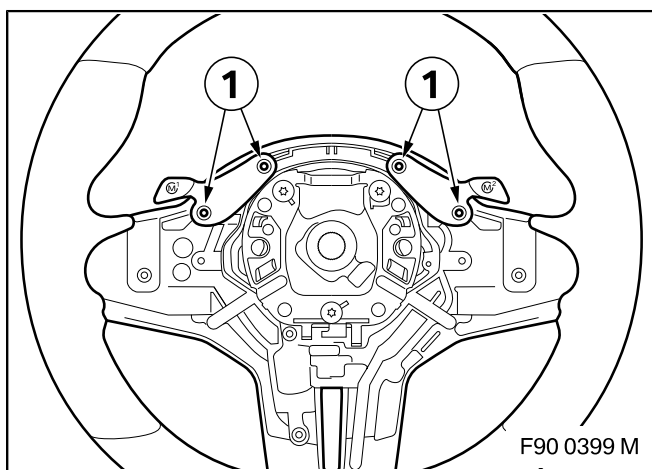
- A** M Performanceステアリングホイール
- B** M Performanceロックスイッチ
- C** M Performance装飾ブラインド

3. 取付け

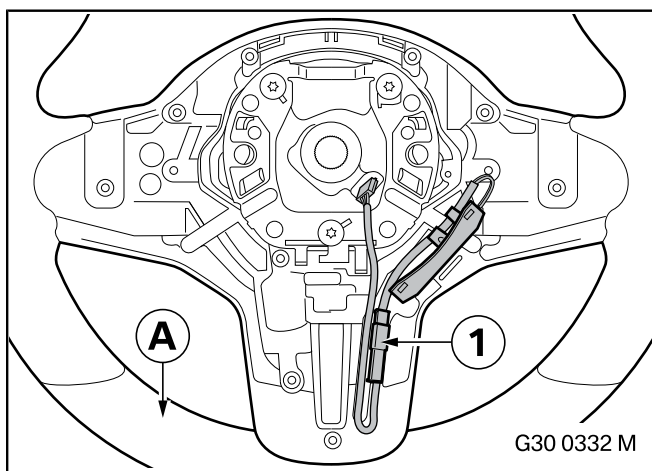


エアバッグユニット、Mスポーツステアリングホイール、Mロッカースイッチ、多機能ボタンとM装飾ブラインド(1)を、**ISTA/AIR**に応じて、取り外します。

Mデコプレート(1)を取外す際は、ノッチ(2)を破損しないようにご注意ください。



螺子(1)を外して、ボタンM1とM2を取り外します。



▶ Mスポーツステアリングホイールの全てのケーブル、コードとコントロールユニットは、同様にM Performanceステアリングホイール**A**に取り入れる必要があります。◀

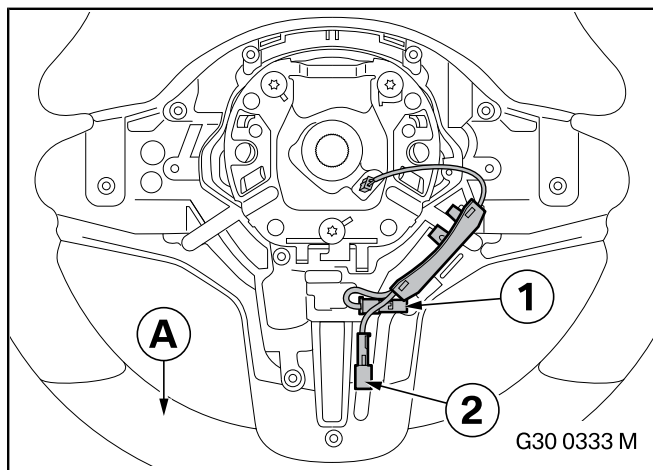
全てのケーブル、コードとコントロールユニットを、M Performanceステアリングホイール**A**に取付けます。

ステアリングホイールヒーターSA 248とコントロールユニットのない車両の場合:

▶ MスポーツステアリングホイールとM Performanceステアリングホイール**A**のケーブルとコード用白抜きは、異なります。コントロールユニットからのケーブルを、コネクション組立(1)と平行に配線します。◀

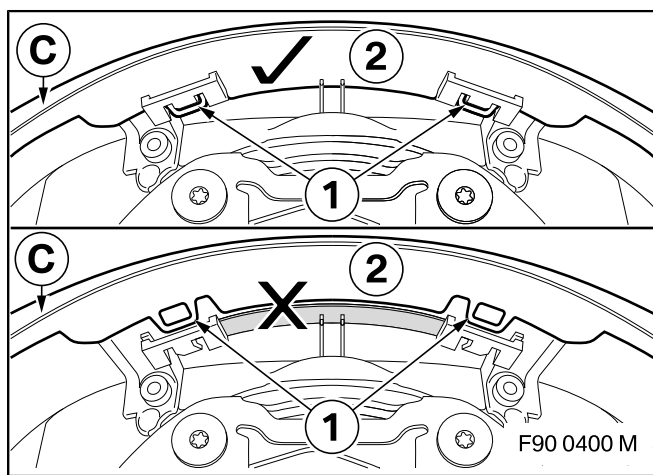
表明した取に、コネクション(1)を配線します。

3. 取付け



ステアリングホイールヒーターSA 248が設置された車両用:

表明した取に、プラグ(1)と(2)を配線します。プラグ(1)がプラグ(2)の下側に隙間なく嵌め込まれていることにご注意ください。



同じ個所に、ボタンM1とM2を、M PerformanceステアリングホイールAに取付けます。

M PerformanceロッカースイッチB、多機能ボタンとM Performance装飾ブラインドCを、ISTA/AIRに応じて、取付けます。

M Performance装飾ブラインドCを取付ける際、ノッチ(1)とフランジ(2)は、正しく位置されたことを注意します。

M PerformanceステアリングホイールAとエアバッグユニットを、ISTA/AIRに応じて、取付けます。

4. 仕上げ作業とコーディング

アドオンシステムはプログラム/コーディングは不要です。

- 車両のバッテリーを接続します
- 機能テストを行います
- 車両を再度正しく組み立てます